



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121  
 会長 平出吉範 幹事 山崎秀亮 会報委員長 本島清隆 第3044回 例会2024.10.31 No.1674



2024-25年度 RI テーマ

THE MAGIC OF  
ROTARY**ソング** 君が代 奉仕の理想**会長談話** 平出吉範会長

7月に山田前会長より引き継いで4か月が経ちました。すでに談話のネタに窮する事態となってきています。困ったときは自分の仕事からのお話をさせていただきます。

皆さん口の持っている機能はどんなものがあるのでしょうか？

1 食べる 2 話す 3 呼吸する 4 攻撃の武器として使う 5 愛情を表現する 6 汗腺のない動物は体温の調整をする

こう言ったように口腔機能も実はいろいろな役割を果たしています。食べるという行為は生命体にとっては根源となるものです。ただこの食べるも生まれたばかりの赤ん坊はミルクを飲む時、吸啜反射といって延髄からの反射によって行われております。それが大脳の前頭葉の発達が進むにつれ、原始的な反射が抑えられ、学習によって咀嚼が確立されてきます。

咀嚼圧(食べるときの歯にかかる力)は成人男子で60~70kg、成人女性で40kgほどと言われています。ほぼ自分の体重と同じ程の力が毎日歯にかかっています。この咀嚼圧ですが、加齢に従って低下してきます。一つは歯の喪失(むし歯、歯周病、外傷…)、歯の支持組織の低下(歯周病)、咀嚼筋の筋力低下、…などです。

厚生労働省の国民栄養調査では、現存歯数の少ない人ほど炭水化物の摂取量が多く、ビタミン、ミネラル、食物繊維の摂取量が少ない傾向がみられるようです。口腔機能の低下が食習慣の変化をもたらし、生活習慣病や全身への悪影響を及ぼしていると言われています。

口腔の健康が悪化し、放置することで食べる、しゃべるといった口腔機能低下が進むと「オーラルフレイル」虚弱という状態になってきます。「オーラルフレイル」が進むとますます食欲の低下、食品多様性の低下をきたし、低栄養、代謝量の低



下、加齢性筋肉減少症(サルコペニア)や運動器症候群(ロコモティブシンドローム)の要因になります。寝たきりや要介護状態にならないためにも、お口の健康をもう一度見直して見てください。

機会がありましたら、先ほどお話しました口腔機能の5、愛情を表現する口の使い方についてお話ししたいと思います。

**幹事報告**

1. 地区事務所からのお知らせです。

①地区職業奉仕セミナーのご案内です。

日時：2024年11月24日(日) 13:00~  
 開催方法：会場対面とオンラインのハイブリッド

会場：ホテルメトロポリタン長野

②ガバナー会事務局より、世界ポリオデーに因み、ポリオ根絶の全面広告を10月19日(土)の日経新聞全国版に掲載致しました。

**11月のプログラム**

7日(木) クラブフォーラム(国際奉仕・財団)

10日(日) 地区大会

14日(木) 10日(日)へ振替

21日(木) クラブフォーラム

※例会終了後、理事会

23日(土) 地区補助金事業「中尾歌舞伎」

28日(木) 23日(土)へ振替

☆お知らせ

・本日例会終了後、理事会を開催致しますので、役員・理事の方はご出席下さい。

・次回は11月7日(木)「クラブフォーラム」です。

**出席報告** 会員数 55名 内出席免除者 17名  
 出席者 26名 事前ミーティング0名 出席率57.77%

## ニコニコボックス

- ・宮下金俊 ロサンゼルス・ドジャースが優勝しました。
- ・ゴルフ部入賞者

## 卓 話 米山奨学生 金 起煥さん

皆さん、こんにちは。ヨネヤマ奨学生のキム・ギファンと申します。私は韓国出身で、天安(チョナン)という地域で高校まで卒業し、現在は信州大学農学部3年生に在籍しており、花卉蔬菜園芸学研究室に所属しております。高校までいた天安はソウルから南に約100キロメートル離れた場所で、クルミやブドウなどが有名な地域です。



次に、なぜ私が日本に来たのかについてお話ししたいと思います。高校2年生まで、私は日本との縁がほとんどありませんでした。しかし、高校2年の前期中に、学校に一通の案内文が届きました。それは、日本の文部科学省が主催する工学系国費留学生の募集でした。当時、趣味で日本語を学んでいた私は、その案内を両親に伝えました。父は「一度やってみるか?」と言い、私は大学進学を考えていましたが、特に学びたい分野が明確に定まっていなかったため、悪くない提案だと思いました。

そうして、高校2年の夏休みに日本留学を専門に準備する塾に行き、説明会を受けました。しかし、目指していた工学系国費留学生制度は、私が大学に入学する年になる前に終了してしまい、挑戦すらできない状況でした。それを知った父は「私費でも留学してみたらどうだ?」と提案し、もともと日本に興味があった私はそれを受け入れ、留学専門の塾に通い準備を始めました。父も日本での留学経験があり、家族からの反対もなかったため、順調に留学の準備を進めることができました。

当時は理系でしたが、特に進みたい方向が定まっておらず、留学を準備しながら自分の興味が何かを探し始めました。その結果、日本での留学の利点を生かしつつ、将来有望で自分が楽しく取り組める分野を考え、農学部に行き着きました。こうしてやりたいことを見つけ、留学準備にさらに力を入れ、結果的に2020年に信州大学農学部合格することができました。

しかし、2020年にコロナが拡大し始め、日本を含む多くの国で入国が禁止される状況となり、大学に合格したものの入国できない事態となりました。そのような中、大学側はオンラインで授業を進め、私は大学入学後の最初の学期を韓国でオンラインで受講する形となりました。学校にも行けず、韓国で大学生活を送ることは、日本に留学したのか疑問に感じる状況でした。

また、信州大学では1年生は松本で過ごし、2

年生から伊那に行くため、少しでも多くの人々と出会う機会を逃したくありませんでした。そこで、私は一年生の前期だけ韓国で授業を受け、兵役の義務を果たすために入隊を決意し、2022年に復学しました。その後、松本で残りの1年生を過ごし、2年生から伊那に来て現在まで様々な授業を受けながら学び、現在は蔬菜園芸学研究室に配属されるようになりました。

信州大学農学部では通常、4年生になると卒業のための卒業論文を書き始めます。しかし、私は来年の前期にソウル大学への交換留学を希望しており、卒業論文を書く時間が相対的に不足しています。そのため、担当教授が配慮してくださり、今学期から卒業論文を書き始めるための実験を行う予定です。

現在、卒業論文のテーマは決まっており、本実験のための実験準備を行っています。私が取り組もうとしている研究のテーマは、イチゴの自己毒性物質と水耕栽培での対策です。イチゴは根からイチゴ植物に害を及ぼす自己毒性物質を排出します。他の作物と同様に土壌で栽培すると影響は少ないですが、養液を循環させる水耕栽培では状況異なります。自己毒性物質が養液に残り、それを循環させることで他のイチゴに伝播し、収量と品質の低下を引き起こします。実際に、イチゴ農家でもこのような報告があります。

これらの農家で品質と収量を維持するために、微細な気泡を発生させるナノバブルを利用して改善したという報告がありますが、これは現在研究が進んでいないため、この現象が事実かどうかを確認する研究を行いたいと考えています。また、イチゴが排出する自己毒性物質が正確に何であるかを明らかにし、現在知られている自己毒性物質である安息香酸という物質以外にも他の物質が存在するかを調べたいと考えています。

学部での研究が終了したら、植物工場の研究が活発に行われている大学院に進学したいと考えています。植物工場は多様なメリットがある施設であり、興味があるためです。植物工場は環境を完全に制御できるため、どのような環境でも作物の栽培が可能です。これは都市に人口が密集している日本のような国で大きなメリットがあります。大部分の作物は、長野のような都市部以外の地域で栽培されるため、都市部までの輸送費もかなりかかり、新鮮さも失われます。したがって、植物工場を都市部に設置することで、都市部の人々は新鮮な作物を摂取でき、輸送費などのコストも削減できます。しかし、初期費用が高額であるため、国からの支援が不可欠です。

私は植物工場に関する研究を続け、植物工場への認識を改善し、将来的には砂漠のような過酷な環境でも植物工場を設置し、多くの人々に新鮮な作物を提供したいと考えています。

以上で発表を終わらせていただきます。長いお話をお聞きくださり、ありがとうございました。